

【新規設定コース】 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
1837	【通信活用研修】 競技課題と採点基準の考え方2	【集合研修日】 令和5年7月11日(火)	20	2 (集合1)
開催会場	オンライン (各施設)	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい 及び 到達目標	<p>本研修では、技能五輪国際大会及び技能五輪全国大会の競技課題と採点基準の作成の考え方について習得します。それぞれの大会は、その考え方が異なります。一方で、競技課題と採点基準は、技能評価をするうえでは基本となるもので、その作成法は同じです。それを実習を通じて体験していただきます。</p> <p>(到達目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 技能五輪大会の競技課題と採点基準の作成法を理解し、選手の指導に活かすことができる。 			
最低限 必要な知識	技能五輪全国大会及び技能五輪国際大会に関して基本的な知識を有する方。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	【通信活用研修】 本研修は通信活用研修となっており、概ね集合研修の1か月前に基礎的な事前課題が提示され、集合研修日に取り組んだ結果を提出いただきます。 事前課題は、集合研修での解説等で、事後課題は通信による添削等でフィードバックが行われます。 事前課題：事例に応じた競技課題（案）と採点基準（案）の作成			
	1. 技能五輪の競技課題と採点基準の関係（2） （1）競技課題・採点基準とは何か （2）技能五輪全国大会・国際大会の考え方の違い		1 H	
	2. 競技課題の内容とレベル設定（2） （1）競技課題の内容はどのように決めるべきか （2）選手の技能レベルに応じて競技課題のレベルをどのように調整するのか		1 H	1 H
	3. 採点基準とその内容（2） （1）選手の技能を適切に評価し得る採点基準とはどのようなものか （2）採点ガイドラインの必要性 （3）採点基準は常に正しいのか		1 H	1 H
4. 選手指導へのフィードバック（2） （1）どのように選手指導にフィードバックしていけばよいのか			1 H	
			3 H	3 H
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	本研修により、競技課題と採点基準の作成方法が理解できるようになり、選手の訓練に活かすことができます。きっとこれまでの訓練法の間違いに気づきます。			
研修成果が 活用できる 職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
	
	
担当教員 (ユニット)	菊池 拓男 (情報通信ユニット)			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト (予定)				